



学校だより

人をつくる 授業をつくる 学校をつくる

www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ekoda/

平成31年4月26日

5月号

横浜市立荇子田小学校

なぜ学習するか

校長 徳江武司

昔、「なぜ算数の勉強をするのですか」と子どもから質問されたことがあります。私は「考える練習をしているんだよ」と答えました。算数の問題を通して、世の中の課題を解決するための練習をしているという意味です。例えば、垂直と平行の学習で「ドアの上と下のレールが平行でなかったら、ドアが開かない」「つかえてしまう」ということまで考えるようにします。すると学習が生活と結び付き、世の中へ目が広がります。

ジャーナリストの日向野一生さんは、「学校ものかたり」という本の中で次のようなことを述べています。

『人のお付き合いのために「国語」があり、買い物でおつりを間違えないために「算数」があり、新たなる便利なものづくりのために「理科」があり、同じ過ちを犯さないために「社会」があり、笑顔のために「音楽」がある。先人の幸せになるための知恵が凝縮されているのである。』

子どもたち一人ひとりが目的をもって学習し、社会に出たときに通用する思考力・判断力・表現力を身に付けてほしいです。